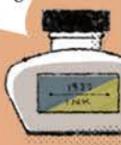


幸子の  
議員活動  
日誌

diary



2016年4月~2016年10月

東奔西走

皆さんからも市政に関して  
ご意見をください。



●中学校で未来会議 5/26  
「北区未来会議 in 南浜中学校」  
素晴らしい未来会議でした

にいがた北青年会議所の企画で、南浜中学校の生徒と先生、地域の方、教育委員会、役所、議員が北区の未来について話し合いました。政策提言や議員が身近であることを実感してもらったチャンスでした。



●勉強会の開催 8/3  
幸子事務所勉強会「原発事故で失ったもの～飯館村からの報告」をしました。

今も飯館村に住み放射線量を図り続け、問題提起を続ける伊藤さんのお話を聞きました。福島の実情は柏崎刈羽原発を抱える新潟の問題でもあります。反原発の立場に立ち今後も活動を続けます。



●女性の政治参画 4/18  
女性参政70周年記念事業「女性は政治を変えられるか」

憲政記念館講堂で市川房枝記念会主催の記念事業が行われました。平和で平等な暮らしの実現には女性議員が必要。初めて女性が参政権を手にした70年前を振り返り、思いを新たにしました。



●反原発 4/25  
「福島原発震災情報連絡センター」の  
総会&研修&視察

新潟からは5人の議員が参加しました。会派も日頃の政治スタイルも全く違うのですが、会派や党を越えて反原発で一致。全国から集まった自治体議員約40人と福島の実情を学びました。



●子どもの権利条例の制定に向けて 6/30  
新潟市に子どもの権利条例を!  
そのスタートラインに立ちました

少子高齢化対策、男女共同参画推進議員連盟で子どもの人権擁護の活動を長年してきた新潟の4団体(権利条例にいがた、子どものオンブズ、CAP、チャイルドライン)を招き意見交換会を持ちました。



●病児保育大会 7/18  
第26回「全国病児保育研究大会 in にいがた」に参加しました

「病児保育」という言葉が市民権を得たこれからは、他の子育て支援との関係を紡ぐ時期。新潟市には9か所の病児保育施設がありますが、今後も重要な施策として取り組んでいきます。



●主権者教育 9/1  
「新潟市主権者教育推進プロジェクトチーム」が始動しました。

プロジェクトチームを代表して、チームリーダーの私とメンバーの小柳聡さんと、新潟市中学校校長会に説明に行ってきました。今後は中学校の依頼を受けて取り組みを進めます。



●地域福祉の拠点作り 9/29  
住み慣れた地域で暮らす  
「もうひとつのわが家」

燕市にある高齢者施設を見学に行ってきました。おむつをしない、居間で手作りの食事を食べる、生活のペースが尊重される、私たちが目指す地域の高齢者福祉の在り方がそこにありました。

新潟市議会議員

いしづき幸子  
議会活動レポート

3

新潟市議会  
市民連合 市政報告

市民連合 951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1 (新潟市役所内)  
TEL.025-228-1000



2年目を迎えました。  
一步一步着実に。

議員活動、2年目を迎えました。  
戸惑うことの多かった1年が過ぎ、その体験を土台に周りが少しずつ見えるようになってきました。

議会の中では先輩や同期の議員の方々に助けられ活動をしています。私の活動のキーワードの1つは「繋がり」ですが、議会の中でも立場や、年齢、性差を超え、少しずつ、緩やかな「繋がり関係性」を作りつつあります。西区で会派の違う4人の議員で憲法9条を守りたいと活動を共にし、18歳選挙権を機に新人議員が始めた主権者教育の取り組みは、市議会全体の取り組みとしてプロジェクトチームが作られ、私はリーダーとして頑張っています。違いを超えて、相手を尊重し、議論し、新たなものを作り出すことは大変難しいことですが、努力の甲斐があるものです。

同時に、喫茶けやきの隣に事務所を構えて2年が経ちます。お茶のみに立ち寄りくださったり、相談やご意見をいただいたり、時に、高齢者福祉の在り方、福島原発事故問題、憲法、子ども食堂の展開など、勉強会や語り合う場を設けています。多くの人たちが集い話す中で、新たな関係や希望が生まれています。今回の新潟県知事選では原発再稼働反対の民意を反映した新しい知事が誕生しました。私はこの場所から市民の想いを知事に届けていくつもりです。

経験不足、力不足を実感することも多い私です。これからも皆さんのお力を寄せてください。いつも皆さんと共にありたいと思っています。事務所の扉が開いていたら、ぜひお声をかけてください。

コンテンツ  
contents

- ご挨拶 .....1P
- 2016年度  
議会報告6月定例会 .....2P
- 9月定例会 / 地域活動 .....3P
- 幸子の議員活動日誌 .....4P

議会を身近に! 傍聴に来てください

そのあと議会議場5階「市民連合」の会派室にもぜひお訪ねください。



新潟市議会議員

いしづき 幸子

無料  
法律 / 税理  
生活相談

市政に関するさまざまな相談にのっています。  
いしづき幸子事務所に気軽にご相談ください。

●市議会会派室(市民連合) TEL 025-228-1000  
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1

●事務所 〒950-2076 新潟市西区上新栄町 3-4-68  
TEL 025-201-8413 FAX 025-201-8423  
sachiko-ishizuki@grace.ocn.ne.jp

●自宅 TEL 025-269-1858 FAX 025-269-1858  
〒950-2076 新潟市西区上新栄町 4-5-82

1. 「空き家」を地域資源として活用することについて
2. 本市の教育における学校図書館の位置づけと特別支援学校における学校図書館の役割について

## 1 「空き家」を地域資源として活用することについて

空き家の増加は大きな地域課題です。総務省の調査によると本市の空き家は4万4千戸で、古くに開発された地域では小路に2~3件の空き家があり、地域の空洞化を感じます。一方、私自身、DV被害女性やシングルマザー、貧しい単身女性たちの支援の現場にいますが、家を求めている人たちも多くなります。また、福島から母子避難されている方からも住宅のことで相談を受けることがあります。空き家を地域の資源と考え、どう空き家所有者と利用希望者をマッチングしていくのか、空き家等の利活用の促進を進めることが重要です。国は空き家を準公営住宅とし活用することを検討しています。本市も避難者支援やシングルマザー、若者、障がい者などの住宅セーフティーネット機能の観点から国に先駆けてモデル事業として実施してはどうでしょうか。

- 本市が取り組む空き家活用事業
- 空き家対策に行政と民間との協働をどのように進めるか
- 国の動き待たず、空き家を「準公営住宅」として活用してはどうか。



放置された建物は倒壊の危険性もあります。

## 市長答弁

本市は、2016年3月に「新潟市空家等対策計画」を作成し、庁内体制の整備、地域や関係団体と連携・協力、有識者や専門家からの意見聴取など取り組みを進めています。その中で、4月25日には新潟県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会新潟県本部、新潟市シルバー人材センターと空き家対策の推進に関する連携協定を締結しました。現在、宅建協会では家所有者と利用希望者のマッチング、シルバー人材センターでは空き家の見回りや庭木剪定、雑草除去を行っています。本協定には、相互の情報や意見を交換する連絡会の設置を盛り込んでおり、一層の連携・協力体制が構築できるものと考えています。

国土交通省では耐震性や省エネ性などの一定の基準を満たす空き家を、公営住宅に準じる「準公営住宅」に指定し、生活費負担が大きい子育て世帯などに提供する制度を検討している、との報道がされています。本市は国が設置した委員会でも今後本格的に議論される予定となっていることから、その動向を注視していきます。

## 2 本市の教育における学校図書館の位置づけと特別支援学校における学校図書館の役割について



小学校の整備された図書館

学校図書館は、家庭環境や親の経済力に左右されることなく、全ての子どもに開かれた知の拠点です。新潟市は小中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館図書標準100%の達成など、全国的にも極めて先進的な学校図書館運営に取り組んできました。この10年間で小学校における年間貸出冊数は、55.2冊から105.7冊とほぼ倍増しました。そのことを市民として高く評価しています。しかし、大変残念なことにこうした素晴らしい環境から取り残されている子どもたちもいます。それは特別支援学校2校と明鏡高等学校の子どもたちです。この根底には差別意識があると考えますが、早期に学校司書を配置することを求めます。

- 「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」と学校図書館の整備
- 新潟市立特別支援学校、明鏡高等学校への司書の配置について



6月に視察した横浜市立盲特別支援学校の図書館は利用者が幼稚部から専攻科まで多岐に渡るため、絵本から医学書関連の本まで多種多様に取りそろえられていました。



## 市長答弁

学校図書館は学校教育に欠くことができません。平成22年策定の第一次計画の大きな成果はブックスタート事業の開始、4つの学校図書館支援センターの設置など学校図書館の活用が大きく進みました。第二次計画の新たな取組みに学校図書館活用推進校の指定、特別支援学校の学校図書館整備検討会の設置などが加わりました。特別支援学校では学校司書を配置してきませんでした。司書の配置によって図書館の整理、蔵書点検とともに、担任の読書指導への支援が期待されます。共に生きるまちづくり条例では、学校教育の分野に障がいのある人への合理的配慮の提供を義務付けています。今後これらの現状を踏まえ、特別支援学校、明鏡高校の司書の配置について、協議、検討していきます。



## Sachiko's eye 幸子の目

6月議会、9月議会を通して学んだことは、課題は1回だけでなく繰り返し質問し、意見・要望すること、同時に先輩議員から同じテーマを別の視点で追及してもらうこと。重層的に長期的に解決のために努力し続けることでした。

## 9月定例会 H28年度一般会計補正予算など26議案が議決されました

私は一般質問をしましたが、同会派「市民連合」の青木学さんと竹内功さんの質問が、私の今までの活動と関連がありますので報告します。

### ●特別支援学校の図書館司書配置の行方

7月には教育長に会派で緊急要望を行い、9月議会で青木学さんが一般質問、文教経済常任委員会で市の姿勢を質し、司書の配置を強く要望しました。



### ●里親制度の充実へ

青木学さんが児童福祉法改正に伴い、児童相談所の専門職員の増員、乳児院に里親支援専門員の配置など、家庭養育の推進に力を注いでいくべきと要望しました。

### ●政令市移行後の歴史的転換 教職員の給与と権委譲について

教職員の給与と権委譲が来年度に迫り、12月議会では給与と権委譲にかかわる条例が提出されます。教育条件の向上、教職員の勤務条件の向上について、竹内功さん、青木学さんが角度を変えて市の姿勢を質しました。

## 地域の課題に取り組みました

### ■海岸保安林の整備



保安林は、飛砂防止、緑地帯として町づくりには欠かせない重要な森林です。日頃はボランティアの方々が整備をしていらっしゃいますが、五十嵐コミ協会は年に1回、住民の皆さんと一緒に取り組んでいます。保安林の整備は地域の環境と町づくりにとって重要な課題と考えています。

### ■防災訓練

災害が発生した時、「今、ここで」助けの手を差し伸べられるのは近隣の人とうし。10月1日に地域の人たちと一緒に「五十嵐コミ協防災訓練」に参加しました。市としてもさらに必要な支援を考えたいと思います。



### ■通学路の整備と点字ブロックの整備

●通学路の安全確保について一般質問や区役所とやり取りをしてきました。産業道路の五十嵐一の町のS字カーブの続く停留所付近の危険部分の改修が行われ、安心して通行できるような大胆なカラー塗装が施されました。



●1月に改善を求めてきましたが、有明福祉センター前の歩道が整備され、点字ブロックと音響装置付き信号の音量がアップしました。「オアシス」を利用する視覚障がいをお持ちの方の安全性が高まりました。

### ■地域で顔と顔が見える関係作り

地域力を上げるために大切なことはそこに住む人たちの関係を紡いでいくことです。それぞれの地域で子どもからお年寄りまで参加できる行事が催されていますが、地域の安心、安全、いざという時の防災のためにも大切と考えています。



地域の行事「いもほり」